



オープニング特別展

本館2階、1階、地下1階、佐藤忠良記念館展示室

宮城県美術館  
リニューアル  
オープン

全館 コレクションで魅せます  
美術の時代

宮城県美術館は今年、開館から45周年を迎えます。開館当初、約700点だった当館のコレクション(所蔵品)は、現在約7,000点になりました。リニューアルオープン第一弾となる本展覧会では、開館以来培ってきたコレクションの中から、国の内外やジャンルを問わず、同時代の作品を同じ空間で展示し、新しくなった美術館全館を使って、時代とともに変化する近現代美術のダイナミズムとその魅力を紹介します。会期中は展示替えを行い、後期からは特別出品作品も加え、当館の日本近代美術コレクションにとって鍵となる作家に焦点を当て、深掘りするコーナーも設けます。

会期 2026年6月20日(土)～8月23日(日)

休館日 月曜日(7月20日(月・祝)は開館)、  
7月14日(火)、7月21日(火)

会期中展示替えあり  
前期 6月20日(土)～7月12日(日)  
後期 7月15日(水)～8月23日(日)

※カンディンスキーの作品は前期のみの出品となります。※特別出品の作品は後期のみの出品となります。※その他、展示替えする作品があります。



【～1920年代:明治・大正から昭和へ】より  
左:ヴァシリー・カンディンスキー《「E.R.キャンベルのための壁画No.4」の習作(カーニバル・冬)》  
1914年(前期のみ展示)  
右:尾竹竹坡《月の潤い・太陽の熱・星の冷え》1920年

【1930～40年代:昭和初期、戦中戦後】より  
左:松本竣介《画家の像》1941年  
右:[特別出品]松本竣介《立てる像》1942年  
神奈川県立近代美術館蔵(後期のみ展示)

料金 一般 700円(560円) 学生、高校生以下無料  
※( )内は20名以上の団体料金

所蔵品展

本館1階、地下1階、佐藤忠良記念館展示室

当館のコレクションから、選りすぐりの絵画や彫刻を会期ごとに特色を設けて紹介します。リニューアルで誕生した地下1階展示室も加わり、さらにパワーアップした所蔵品展で、作品との新たな出会いをお楽しみください。

2026年度 第1期 2026年9月2日(水)～11月3日(火・祝)  
2026年度 第2期 2026年11月7日(土)～2027年1月31日(日)  
2026年度 第3期 2027年2月4日(木)～4月11日(日)



パウル・クレー《カ学値のつりあい》  
1935年



長谷川清二郎《猫》  
1966年



佐藤忠良《帽子・夏》  
1972年

特別展

本館2階展示室

カンディンスキー 世界は鳴りひびく  
— 日本のコレクションでたどる画業と反響 —  
2026年9月12日(土)～10月28日(水)

当館のコレクションの顔、カンディンスキーの待望の回顧展です。色と形が響きあい、魂を揺さぶる絵画はどのように生まれたのか。二つの世界大戦に翻弄されながら、ミュンヘン、モスクワ、パウハウス、パリと舞台を移す中で、その作品世界には何が流れ込んだのか。日本人はカンディンスキーとどのように関わり、何を受け取ったのか。国内各所に所蔵される充実した作品群により、抽象絵画を切り拓いた画家の軌跡をたどります。



ヴァシリー・カンディンスキー《支え無し》  
1923年 ポーラ美術館蔵

料金 一般 1,300円(1,100円) 学生 1,100円(900円)  
小・中・高校生 650円(500円)  
※( )内は20名以上の団体料金

いま、私は現代アートと出会う  
2026年11月14日(土)～2027年1月24日(日)

本展覧会では、ある一人のコレクターが蒐集したコレクションの中から、草間彌生、奈良美智、村上隆、アンディ・ウォーホルといった現代アートを代表する作家の作品約70点をご紹介します。色やかたち、光や線、人、風景、記憶といったシンプルなキーワードで、戦後から現代にかけての多様な美術表現に触れることができる展覧会です。



香月美菜 (S:21:10) 2021年  
©Mina Katsuki photo by Kenryou Gu

料金 一般 1,500円(1,300円)  
学生 1,300円(1,100円)  
小・中・高校生 750円(600円)  
※( )内は20名以上の団体料金

棟方志功展(仮)

2027年2月6日(土)～3月28日(日)

青森で芸術家を志し、やがて世界的評価を確立した棟方志功。本展覧会では、一般財団法人棟方志功記念館の所蔵品を中心に、「板画」「倭画」「デザイン」など多岐にわたる棟方の芸術世界をご紹介します。さらに棟方に大きな影響を与えた青森の風土や文化、棟方の芸術人生や人となりについても、貴重な資料を通して紐解きます。



棟方志功  
《天乃宇受女之美古登の図》  
1972年  
一般財団法人  
棟方志功記念館蔵

料金 一般 1,500円(1,300円)  
学生 1,300円(1,100円)  
小・中・高校生 750円(600円)  
※( )内は20名以上の団体料金

学び・参加

創作室プログラム

■ トライ・デー  
当館スタッフが、さまざまな素材や技法に親しむ創作体験や、鑑賞プログラムを行います。

■ ワークショップ  
アーティストやさまざまな領域の専門家を講師に招き、開催します。

他にもいろいろ  
詳細はウェブサイト!

それぞれのイベントやプログラムの詳細、日程、実施形態、申込方法等については、こちらをご確認ください。



キッズスタジオ・プログラム

■ ミュージアム探検  
展示室や建物の中、野外彫刻が並ぶ庭を、当館スタッフと一緒に巡ります。

■ チャレンジ・キッズ・プログラム  
素材遊びや造形体験を通して、「みる」「つくる」「かんじる」ことを楽しみます。

■ キッズ・ワークショップ  
アーティストと一緒に活動します。

ギャラリー・トーク

所蔵品展や特別展において、学芸員が作品についてお話しします。



各種講座

さまざまなテーマを設けて実施する公開講座です。学芸員や専門家の講話を通して、当館のコレクションや美術への理解を深めることができます。

- ▶ 講演会 ▶ みやぎ県民大学
- ▶ 美術館講座 ▶ まちなか美術講座 など

見える収蔵庫体験

美術館の収集・保存活動の舞台裏を知ることができます。作品に囲まれながら、学芸員の話をお聞かせいたします。